

《企業調査票》

I 貴社の方針についてうかがいます。

問1 貴社ではどのような雇用管理の方針をお持ちですか。以下の各項目それぞれについてあてはまるものを選んでください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)。

	そうだ	どちらともいえない	ちがう
(1) 若年者(新卒者、卒業後3年以内の者)の活用を重視している	1	2	3
(2) 女性社員の活用を重視している	1	2	3
(3) 高齢社員の活用を重視している	1	2	3
(4) 人材は国籍を問わず採用している	1	2	3
(5) 正社員を中心に長期雇用を維持していきたい	1	2	3
(6) 評価の基準は年齢や勤続年数よりも成果を重視する	1	2	3
(7) 能力・適性により早い段階から配置・育成を差別化する	1	2	3
(8) 昇進・昇格に差をつける時期を早める	1	2	3
(9) 企業の責任で社員の能力開発を行っている	1	2	3
(10) 外国人を専門的・技術的な職種で活用している	1	2	3
(11) 外国人を生産工程やサービスの仕事で活用している	1	2	3
(12) 外国人を正社員として活用している	1	2	3
(13) 外国人を有期の契約社員として活用している	1	2	3
(14) 外国人をパート・アルバイトや外部人材(派遣・請負社員)として活用している	1	2	3

II 貴社の外国人の高度人材の採用についてうかがいます。

問2 貴社では、現在、外国人の高度人材の採用についてどのような方針をお持ちですか(あてはまるものすべてに○)。

- 1 日本の大学、大学院を卒業(修了)した新卒の留学生を採用する
- 2 日本国内の外国人の高度人材をキャリア採用する
- 3 海外の大学、大学院を卒業(修了)した新卒の学生を採用する
- 4 海外から外国人の高度人材をキャリア採用する
- 5 特に決まった方針はない、わからない
- 6 その他(具体的に:.....)

問3 貴社では過去3年間に外国人の高度人材を正社員またはフルタイムの契約社員として採用したことがありますか(あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 過去3年間に採用したことがある } 付問3-1~3-6に進んでください。
- 2 過去3年間に採用しなかったが、それ以前に採用したことがある } 進んでください。
- 3 これまで一度も採用したことがない → 付問3-7(6ページ)に進んでください。

付問3-1 貴社の過去3年間の外国人の高度人材の正社員、契約社員の採用人数の合計をご記入ください(概数でかまいません。該当者がいない場合は、お手数ですが「0」(ゼロ)をご記入ください。)(単位:人)

	正社員(期間の定めない労働契約の社員)	契約社員(有期の雇用契約で、かつフルタイムで働く社員)
日本の大学、大学院を卒業(修了)した外国人留学生の人数		
日本国内で採用した外国人の高度人材の人数(キャリア採用)		
海外から新卒採用した外国人の高度人材の人数		
海外から採用した外国人の高度人材の人数(キャリア採用)		

付問3-2 貴社では外国人の高度人材を採用する際に、日本人社員とは別に採用枠を設けていますか。直近の状況について、正社員と契約社員それぞれについてご回答ください(それぞれあてはまるもの1つだけ○)。

	日本人採用して区別	日本人採用して別	別の高度人材採用している	外国人の高度人材採用しない	その他
正社員	1	2	3	4	5
契約社員	1	2	3	4	5

具体的に

(具体的に:.....)

付問3-3 有期の雇用契約でかつフルタイムで働いている外国人の高度人材の「契約社員」は平均するとどの位の長さの契約期間ですか。数値をご記入ください(概数でかまいません)。

およそ( )年( )か月

付問 3-4 外国人の高度人材を採用した理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

- 1 国籍に関係なく、優秀な人材を確保するため（人材のダイバーシティ戦略など）
- 2 仕事上、外国語や外国の状況を理解している人材が必要であったから
- 3 日本人にはない、外国人ならではの技能・発想をとりいれるため
- 4 事業の国際化に資するため
- 5 日本人では高度な人材が集まらなかったから
- 6 貴社が必要とする技能や能力を持った人材がまたま外国人であったから
- 7 その他（具体的に：.....）

付問 3-5 貴社では外国人の高度人材を募集する際、どのような方法で募集していますか（あてはまるものすべてに○）。

- 1 新聞、雑誌、学術雑誌、専門誌の求人広告、就職情報誌
- 2 インターネットの求人サイト
- 3 ホームページ
- 4 就職セミナーやオン・キャンパス・リクルーティング（企業の採用担当者が大学に出向いて採用選考を行うこと）
- 5 学校の就職部や指導教授の紹介
- 6 社員、家族、友人、知人など個人的ネットワーク
- 7 ハローワークや外国人雇用サービスセンターなどの公的機関
- 8 民間の人材紹介会社
- 9 必要な人材のスカウト、ヘッドハンティング
- 10 外国人の高度人材の募集は行っていない
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に：.....）

付問 3-6 貴社で外国人の高度人材を採用、活用する上で、現在の在留資格制度に関することと制約になっていることはありませんか（あてはまるものすべてに○）。

- 1 申請手続きが煩雑である
- 2 手続きの処理に時間がかかる
- 3 手続きにノウハウが必要である、手続きの仕方がわかりにくい
- 4 外国人の高度人材がどの在留資格に該当するのかわかりにくい
- 5 資格外活動への制約が厳しい
- 6 在留期間の長さの制約があり活用しにくい
- 7 配偶者の就労の制約がある
- 8 申請が認可されるかわかりにくい
- 9 親、家事使用人の帯同に制約がある
- 10 その他（具体的に：.....）
- 11 特に問題はない

付問 3-7 問 3 で「3 これまで一度も採用したことがない」と回答した方にうかがいます。これまで外国人の高度人材を採用しなかった理由はなんですか（あてはまるものすべてに○）。

- 1 外国人の高度人材の募集の方法がわからなかったから
- 2 外国人の高度人材の処遇や人事管理の方法がわからなかった、具体的な対応が決まらなかったから
- 3 社内の受入れ体制が整っていなかったから（日本語などコミュニケーションの問題など）
- 4 外国人の採用のみに消極的であったから
- 5 外国人が貴社の業種や業態と合わないから（仕事を行うための資格が必要であったり、接客が多いなど）
- 6 外国人を採用しても、将来帰国・転職を希望する者が多く、定着しないから
- 7 募集したが、応募がなかったから
- 8 募集に対する応募はあったが、貴社が求める要件を満たしていなかったから
- 9 （キャリア採用など）候補者がいたが、処遇などの条件が合わなかったから
- 10 外国人の高度人材を必要としないから（海外との取引がないなど）
- 11 （日本人を含めて）採用そのものを行っていないから
- 12 その他（具体的に：.....）

Ⅲ 貴社の外国人の高度人材の活用についてうかがいます。外国人の高度人材がいない場合は問 11（9 ページ）に進んでください。

問 4 貴社では外国人の高度人材がどのような役割を担うことを期待していますか（あてはまるもの 2 つまで○）。

- 1 会社・会社グループ全体の経営を担う経営幹部
- 2 海外現地法人の経営幹部
- 3 海外との取引を担う専門人材（海外営業など）
- 4 高度な技術・技能を活かす専門人材（研究者、技術者など）
- 5 日本人社員と同様に考えている
- 6 その他（具体的に：.....）

問 5 貴社では、外国人の高度人材をどのような部署に配属していますか（あてはまるものすべてに○）。

- 1 会社の経営全般
- 2 総務・秘書・人事・広報など
- 3 販売・営業
- 4 貿易実務
- 5 商品開発、サービス開発
- 6 金融関係
- 7 研究開発
- 8 調査・コンサルティング
- 9 生産・製造
- 10 システム開発・設計
- 11 通訳・翻訳
- 12 デザイン
- 13 記者・番組制作
- 14 医療・保健
- 15 法律・会計業務
- 16 教育・研修
- 17 その他（具体的に：.....）

問6 貴社では外国人の高度人材が仕事をす上でのくくらしい日本語ができることを求めますか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 自分で報告書やビジネスレターなどの文書を日本語で作成できるレベル
- 2 報告書やビジネスレターを作成できるほどではないが、日本語でビジネス上のやりとりができるレベル
- 3 日本語で日常会話ができるレベル
- 4 日本語ができなくても問題ない
- 5 その他  
(具体的に:.....)

問7 現在在籍している外国人の高度人材の出身国・地域はどこですか (あてはまるものすべてに○)。

- 1 中国
- 2 韓国
- 3 中国 (台湾)
- 4 バングラディッシュ
- 5 マレーシア
- 6 ベトナム
- 7 タイ
- 8 スリランカ
- 9 ネパール
- 10 モンゴル
- 11 インドネシア
- 12 その他アジア諸国
- 13 アフリカ諸国
- 14 欧州諸国
- 15 北米諸国
- 16 中南米諸国
- 17 オセアニア諸国
- 18 高度人材はいない
- 19 その他  
(具体的に:.....)

付問 現在在籍している外国人の高度人材の出身国・地域で最も人数が多いのはどこですか。問7の選択肢の番号をお書きください。

- ( )
- 問8 現在在籍している外国人の高度人材の方で最高位の職位は次のどれですか (あてはまるもの1つだけ○)。
- 1 経営幹部
  - 2 部長クラス
  - 3 課長クラス
  - 4 係長・主任クラス
  - 5 一般職 (役職なし)
  - 6 その他  
(具体的に:.....)

問9 貴社で採用した正社員の外国人の高度人材のうち、採用5年後に在籍している人の割合は何割くらいですか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 8割以上
- 2 6割以上8割未満
- 3 4割以上6割未満
- 4 2割以上4割未満
- 5 2割未満
- 6 わからない
- 7 正社員の外国人の高度人材はいない
- 8 採用後5年経っていない
- 9 その他  
(具体的に:.....)

問10 外国人の高度人材が定着・活躍するための施策についていかがいます。

- (1) 貴社では外国人の高度人材が定着・活躍するためにどのような施策を実施していますか (あてはまるものすべてに○)。
- (2) 外国人の高度人材が定着・活躍するために必要な取組みはどのようなことだと思いますか (あてはまるものすべてに○)。
- (3) (2)で回答した必要な取組みのうち特に重要だと思えるものはどれですか (あてはまるもの3つまで○)。

	(1) 貴社が実施している施策 (○はいくつでも)	(2) 定着・活躍のために必要な取組み (○はいくつでも)	(3) 定着・活躍のために「特に」重要な取組み (○は3つまで)
日本人社員の異文化への理解度を高めること	1	1	1
短期間の勤務でもキャリア形成できるように多様なキャリアコースを用意すること	2	2	2
外国人の特性や語学力を活かした配置・育成	3	3	3
学校で学んだ専門性を活かした配置・育成	4	4	4
職務分担を明確にすること	5	5	5
個人業績・成果を重視した評価・処遇制度の構築	6	6	6
外国人向けの研修の実施 (ビジネスに必要な日本語教育など)	7	7	7
仕事や生活の相談ができる体制の整備 (上司・先輩・同僚、メンターによるサポートなど)	8	8	8
海外赴任の経験者のもとに配属すること	9	9	9
労働時間を短くして仕事と私生活を両立できるように配慮すること	10	10	10
会議や社内文書などの多言語化などを進めること	11	11	11
外国人の採用人数を増やし、外国人社員の構成比を高める	12	12	12
医療、年金、住宅、子どもの教育等の日本での生活環境をサポートすること	13	13	13
コミュニケーションを円滑にするための取組み (英語環境の整備、日本語教育の強化等)	14	14	14
特になし	15	15	15
その他 具体的に:.....	16	16	16

その他の具体的な施策または必要な取組の内容  
(1)で「その他」を選択した場合にご記入ください

(2)で「その他」を選択した場合にご記入ください

**IV 外国人の高度人材の受入れに関する制度・政策についてうかがいます。**

問 11 わが国では外国人の高度人材の受入れにあたり、平成 24 年 5 月から「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」(以下、「ポイント制」)が導入されました。貴社では外国人の高度人材に対する「ポイント制」の導入をご存知でしたか(あてはまるもの 1 つだけ○)。

- 1 ポイント制の導入を知っている
- 2 ポイント制の導入を知らない
- 3 その他

(具体的に:)

ー「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」についてー  
 「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」(以下、「ポイント制」)とは、現行の外国人受入れの範囲内で、経済成長や新たな需要と雇用の創造に資することが期待される高度な能力や資質を有する外国人(＝高度人材)の受入れを促進するため、ポイントの合計が一定点数に達した者を「外国人の高度人材」とし、出入国管理上の優遇措置を講ずる制度です。「ポイント制」では、「学術研究活動」「高度専門・技術活動」「経営・管理活動」の 3 つの就労活動を設定し、それぞれの特性に応じて、学歴や職歴、年収などの項目ごとにポイントを設けており、ポイントの合計が、一定の点数以上に達した方に、出入国管理上の優遇措置が与えられます。詳しくは下記の政府広報オンライン、法務省入国管理局のサイトをご覧ください。

- ◆政府広報オンライン (<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201205/3.html>)
- ◆法務省入国管理局 ([http://www.immi-moj.go.jp/info/120416\\_01.html](http://www.immi-moj.go.jp/info/120416_01.html))

▶付問 11-1 問 11 で「1 ポイント制の導入を知っている」とご回答の方には「あてはまるものすべてに○)。

- 1 申請の実績がある
- 2 申請の実績がない
- 3 わからない
- 4 外国人の高度人材がいない
- 5 その他

(具体的に:)

付問 11-2 現在のポイント制では、高度人材として入国が認められた場合、以下のような出入国管理上の優遇措置を受けられますが、貴社で外国人の高度人材の社員の定着・活用を図るために効果があると思うものはどれですか(あてはまるもの 3 つまで○)。

ポイント制の優遇措置の項目	外国人の定着に効果があると思われる項目(○は 3 つまで)
複合的な在留活動の許可	1
最長「5 年」の在留期間の付与	2
在留歴に係る永住許可要件の緩和	3
入国・在留手続の優先処理	4
配偶者の就労	5
親の帯同	6
高度人材に雇用される家事使用人の帯同	7
わからない	8
特になし	9
外国人の高度人材がいない	10

ポイント制の優遇措置の内容は下の枠内をご覧ください。

- ーポイント制の優遇措置の内容ー
- 複合的な在留活動の許可: 在留資格制度で取得した在留資格で認められている範囲を超えた複数の在留資格にまたがる複合的な活動を行うことができます。
  - 最長「5 年」の在留期間の付与: 在留資格ごとに設けられている在留期間について、高度人材については、法律上の最長の在留期間が一律に決定されます。
  - 在留歴に係る永住許可要件の緩和: 高度人材としての活動を引き続き概ね 5 年間行っている場合に永住許可の対象となります。
  - 入国・在留手続の優先処理: 入国事前審査手続を申請受理から 10 日以内、在留手続については申請受理から 5 日以内をめどに優先的に行われます。
  - 配偶者の就労: 高度人材の配偶者の場合は、高度人材の配偶者としての在留資格で「教育」「技術」「人文知識・国際業務」などに該当する活動を行うことができます。
  - 親の帯同: 年収や同居など一定の要件を満たす場合、高度人材又はその配偶者の 3 歳未満の妻子を養育するため、高度人材又はその配偶者の実親の入国・在留が認められます。
  - 高度人材に雇用される家事使用人の帯同: 年収や本国での雇用期間の要件を満たせば、家事使用人を帯同することや、13 歳未満の子がいるなどの事情を理由に、外国人の家事使用人を雇用することが認められます。

付問 11-3 貴社の外国人の高度人材に社員の定着を図るためには、高度人材が働くための環境整備とポイント制による出入国管理制度の優遇措置を与えることのどちらが有用だと思いますか（あてはまるもの1つだけ○）。

- 1 高度人材が働くための環境整備が有用だと思う
- 2 どちらかといえば高度人材が働くための環境整備が有用だと思う
- 3 どちらかといえばポイント制の出入国管理の優遇措置を与えることが有用だと思う
- 4 ポイント制の出入国管理の優遇措置を与えることが有用だと思う
- 5 わからない
- 6 外国人の高度人材がない

付問 11-4 付問 11-2 であげた優遇措置の他に、貴社の外国人の高度人材の社員の採用、定着をはかるためにどのような施策が効果的だと思いますか。国の制度、貴社の施策など、具体的にお書きください。

---



---



---



---



---

V 貴社の今後の外国人の高度人材の採用についてうかがいます。

問 12 貴社では今後の外国人の高度人材の採用についてどのような方針をお持ちですか（あてはまるもの1つだけ○）。

- 1 採用人数を増やしたい（積極的に採用していきたい）
  - 2 現状程度の人数を維持する
  - 3 業務上の必要性に応じて採用する
  - 4 外国人より日本人の採用を優先する
  - 5 外国人の高度人材の採用予定はない
  - 6 わからない
  - 7 その他
- （具体的に：.....）

付問 12-1～12-2  
に進んでください。

付問 12-1 今後、外国人の高度人材がどのような役割を果たすことを期待していますか。1番目に期待する役割と2番目に期待する役割をご回答ください（それぞれあてはまるもの1つだけ○）。

外国人の高度人材に1番目に期待する役割	1 会社・会社グループ全体の経営・管理を担う経営幹部 2 海外現地法人の経営幹部 3 海外との取引を担う専門人材（海外営業など） 4 高度な技術・技能を活かす専門人材（研究者、技術者など） 5 日本人の高度人材と同じに考えている 6 その他 （具体的に：.....）
外国人の高度人材に2番目に期待する役割	1 会社・会社グループ全体の経営・管理を担う経営幹部 2 海外現地法人の経営幹部 3 海外との取引を担う専門人材（海外営業など） 4 高度な技術・技能を活かす専門人材（研究者、技術者など） 5 日本人の高度人材と同じに考えている 6 その他 （具体的に：.....）

付問 12-2 付問 12-1 で選択された外国人の高度人材に期待する役割を担う、外国人の高度人材に求められる人材像はどのようなものですか。1番目に期待する役割と2番目に期待する役割それぞれ、学歴、職歴、年齢、実績、年取、その他についてあてはまるものを1つ選んでください。

	1番目の人材像	2番目の人材像
(1) 学歴	博士（外国で授与された学位を含む）の学位を有する者 修士、専門職学位（外国で授与された学位を含む）を有する者 大学を卒業または同等以上の教育を受けた者 その他 （具体的に：.....）	1 1 2 2 3 3 4 4
(2) 職歴	3年以上5年未満の実務経験 5年以上7年未満の実務経験 7年以上10年未満の実務経験 10年以上15年未満の実務経験 15年以上20年未満の実務経験 20年以上の実務経験 その他 （具体的に：.....）	5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 10 10 11 11

※次のページに続く

	1 材 像 目 の 人	2 像 目 人 材
(3) 年齢	30歳未満	12
	30歳代	13
	40歳代	14
	50歳代	15
	年齢は問わない	16
	その他 (具体的に )	17
(4) 実績	特許を有すること	18
	外国政府から補助金、競争的資金その他の金銭の給付を受けた研究に3回以上従事した経験があること	19
	学術雑誌に掲載されている論文が3本以上あること	20
	イノベーションの創出の促進につながること	21
	他社で経営・管理に携わった実績があること	22
	コンベンションなどで優れた実績があること	23
	その他 (具体的に )	24
	400万円未満	25
	400万円以上700万円未満	26
	700万円以上900万円未満	27
(5) 年収	900万円以上1000万円未満	28
	1000万円以上1500万円未満	29
	1500万円以上2000万円未満	30
	2000万円以上3000万円未満	31
	3000万円以上	32
	その他 (具体的に )	33
	日本の大学、大学院を卒業(修了)し、学位を授与された者	34
(6) その他	日本語検定試験で2級認定以上または日本語を専攻して外国の大学を卒業した者	35
	その他 (具体的に )	36

VI 貴社の概要についてうかがいます。

問13 貴社の所在地をご記入ください。  
( ) 都・道・府・県

問14 貴社の主たる事業の業種な何ですか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 鉱業、採石業、砂利採取業
- 2 建設業
- 3 製造業→付問に進んでください。
- 4 電気・ガス・熱供給・水道業
- 5 情報通信業
- 6 運輸業、郵便業
- 7 卸売業、小売業
- 8 金融業、保険業
- 9 不動産業、物品賃貸業
- 10 学術研究、専門・技術サービス業
- 11 宿泊業、飲食サービス業
- 12 生活関連サービス業、娯楽業
- 13 教育、学習支援業
- 14 医療、福祉
- 15 複合サービス業
- 16 サービス業 (他に分類されないもの)
- 17 その他  
(具体的に:.....)

付問 「3 製造業」とご回答の方にかがいます。主たる事業の業種な何ですか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 食料品製造業
- 2 飲料・たばこ・飼料製造業
- 3 繊維工業
- 4 木材・木製品製造業 (家具を除く)
- 5 家具、装備品製造業
- 6 ハルブ・紙・紙加工品製造業
- 7 印刷・同梱業
- 8 化学工業
- 9 石油製品・石炭製品製造業
- 10 プラスチック製品製造業
- 11 ゴム製品製造業
- 12 なめし革・同製品・毛皮製造業
- 13 窯業・土石製品製造業
- 14 鉄鋼業
- 15 非鉄金属製造業
- 16 金属製品製造業
- 17 はん用機械器具製造業
- 18 生産用機械器具製造業
- 19 業務用機械器具製造業
- 20 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 21 電気機械器具製造業
- 22 情報通信機械器具製造業
- 23 輸送用機械器具製造業
- 24 その他の製造業
- 25 その他  
(具体的に:.....)

問15 貴社の設立年はいつですか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 1969年以前
- 2 1970年代
- 3 1980年代
- 4 1990年代
- 5 2000年以降

問16 貴社の資本金はどのくらいですか (あてはまるもの1つだけ○)。

- 1 1億円未満
- 2 1億円以上5億円未満
- 3 5億円以上10億円未満
- 4 10億円以上50億円未満
- 5 50億円以上100億円未満
- 6 100億円以上500億円未満
- 7 500億円以上

問 17 貴社の株式公開の状況はどれですか（あてはまるもの 1 つだけ○）。

- 1 一部上場
- 2 二部上場
- 3 新興市場上場
- 4 株式未公開
- 5 株式会社ではない

問 18 貴社の 2011 年度決算期の年間売上高はどのくらいですか（あてはまるもの 1 つだけ○）。

- 1 5 億円未満
- 2 5 億円以上 50 億円未満
- 3 50 億円以上 100 億円未満
- 4 100 億円以上 500 億円未満
- 5 500 億円以上 1,000 億円未満
- 6 1,000 億円以上 5,000 億円未満
- 7 5,000 億円以上

問 19 貴社の海外展開の状況は次のどれですか（あてはまるもの 1 つだけ○）。

- 1 海外に親会社がある
- 2 海外現地法人や海外支店があり、海外企業等と取引を行っている
- 3 海外に駐在員事務所だけを置いている
- 4 海外現地法人や駐在員事務所などはないが、海外と直接取引している
- 5 海外との直接取引はない
- 6 その他

(具体的に:.....)

問 20 2011 年度決算期の年間海外売上高はどのくらいですか（あてはまるもの 1 つだけ○）。

- 1 0 %
- 2 0 %超 10%未満
- 3 10%以上 30%未満
- 4 30%以上 50%未満
- 5 50%以上 70%未満
- 6 70%以上 90%未満
- 7 90%以上

問 21 貴社の外資比率はどれくらいですか。数値をご記入ください(概数でかまいません)。およそ ( ) %くらい

問 22 現在の貴社の従業員構成をご記入ください(概数でかまいません。該当がない場合は、お手数ですが「0」(ゼロ)をご記入ください)。(単位:人)

	正社員 (期間の定めない労働契約の社員) と契約社員 (有期の雇用契約でかつフルタイムで働く社員)	非正社員 (パート、アルバイトなど)
在籍している社員数		
うち外国人の社員数		